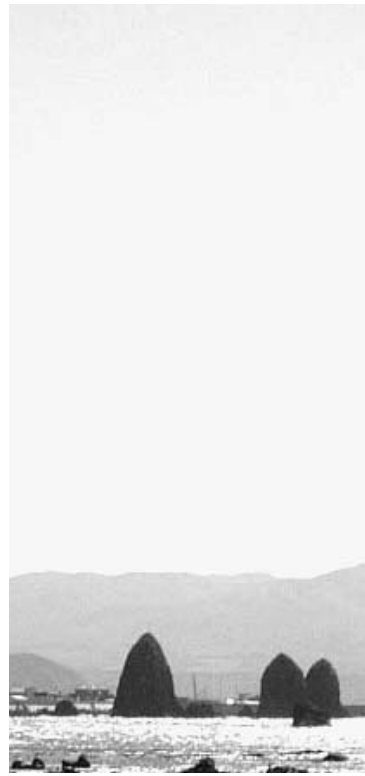


# せたな

閉町にあたってのごあいさつ

新しい活力あるまちづくり  
新たな歴史づくりに向かって

瀬棚はこうして生まれた…  
写真と年表で見る瀬棚の歴史



## 瀬棚町閉町にあたっての「あいさつ」

# 新しい活力あるまちづくり、 新たな歴史づくりに向かって

## 「せたな町の未来を見つめて…」 瀬棚町閉町にあたって

瀬棚町長 平田泰雄

「瀬棚町」から「せたな町」へ。平成17年9月1日、いよいよその時を迎えます。

明治13年、「瀬棚」が誕生して125年余り。先人が幾多の困難に耐え、築き上げてこられたその輝かしい歴史に幕を下ろし、新町「せたな町」がスタートいたします。

平成の大合併として、全国各地で練り上げられました合併論議の中にあつて、瀬棚町・北檜山町・大成町の檜山北部3町は、単に時代の流れとしてではなく、少子高齢化の急速な進展や地方分権・道州制による市町村への大規模な事務・権限移譲など、その受皿となる基礎自治体の将来における果たすべき役割を強く認識し、

将来のあるべき姿をしつかり見据え、新しいまちづくりを目指すこととなりました。

瀬棚町125年の長い歩みを顧みるとき、その時代を生き抜いてこられた先人の英知と、たゆまぬ努力によって築いたすばらしい歴史の数々が甦つてまいります。幾多の試練に耐え、厳しい風雪にもめげず開拓の志に燃え、未開の海へ、未踏の大地へと果敢に挑まれたその夢と情熱は確実に次の世代へと引き継がれてまいりました。この貴重な緑の野山と世界につながる海を遺された先人の偉大な功績にあらためて敬意と感謝を捧げます。そして今、訪れる新たな時代に思いを馳せるとき、これ

まで以上に健康に包まれ、明るく、やさしく、豊かで活気に満ちたまちであるとともに、ふるさとに誇りをもち、みなさんが力を合わせ支えあい共に歩むことが、先人の思いと汗が目指した夢に報いるものと信じております。

その道のりは決して穏やかではありませんが、私たちはこの道を選びました。しかし、3町の町民の和をもってすれば、必ずや新しい活力あるまちづくり、新たな歴史づくりができるものと信じております。

遠くの景色を眺めるように、過ぎてきた「とき」を振り返りながら、新たな歴史が始まるこの「とき」に、その瞬間を迎えることの言葉では言い尽くせない思いを胸に、これから創り上げる新たなまちの歴史の中の一人としての喜びと誇りを心に留め、これまでに取り組んできた時代を先取りした小さなまちの大きな挑戦のさらなる継続と、その経験を財産として活力として、新しいまちづくりに活かしていかなければなりません。まちの形が変わっても、私たちの「まち」は永遠に続いていきます。そこに人々が住んでいる限り。この「まち」を愛する人がいる限り。

最後に、これまで瀬棚町政の執行にあたり深いご理解とご支援をいただきました町民皆様はじめ議会、関係機関に対し、改めまして感謝とお礼を申し上げますとともに、ご健康とご多幸をご祈念申し上げます。瀬棚町閉町にあたっての「あいさつ」といたします。

新町「せたな町」の未来に、限りなく大きな夢を見つめて。



# 回 帰

瀬棚町議会議長 柳田 眞

日本人で5人目となる宇宙飛行士の野口聡一さんが搭乗した宇宙連絡船「デイスカバリー」が宇宙開発計画の重要な任務を終えて無事帰還との報は、宇宙にうとい私でも喜ばしい思いでいっぱいです。

そして今、「歴史は繰り返す」という言葉を思い出しながら、宇宙への飽くなき挑戦も私たちが合併をして進む自治体も歴史の中で繰り返して、巡り返して元の姿に帰る「回帰」の流れかと考えております。

たどれば明治13年、瀬棚町の戸数127戸、人口661人をもって戸長役場を開庁以来、29年には、戸数1千390戸、人口6千307人となり、翌30年には4つの病院が開業し、その中の一医院は診療所の名称ともなった日本女医第一号の荻野吟子先生の「荻野医院」も含まれているとあります。

大正10年、町制施行により瀬棚町となり、大きく発展の道を歩んできましたが、漁業を基盤とする瀬棚は、現在のように漁具、漁船なども満足できるものではなく、昭和にかけては漁船、貨物船などを含めて遭難事故なども数多く、苦労の連続であったと思われ

また、行政、議会におきましても、昭和22年の公職選挙法施行後初の選挙以来、議会では私を除く12名の方々が議長として、行政とともに大きな力量を発揮されました。昭和26年から30年、そして42年から58年までは北海道議会議員として3人の方々が当選させるなど、政治的実力をいかななく発揮されました。しかし、その間には町議会の解散、合併協議の否決など、苦難の道のりも数多く、今私たちが

あるのは、歴代先輩のご苦勞と、町民皆さまのご理解、ご協力のおかげと厚くお礼申し上げます。

9月1日、開基125年、昭和の大合併が至難となつて50年を以て北部3町の合併の日を迎えることは、回帰という目に見えない糸で繋がれていたような気がいたします。合併になりましても、私たちが新しいよき歴史を作るとの信念をもって、瀬棚町議会議員12名は「せたな町」においてさらに活動に力を注いでまいりますので、今後とも変わらぬご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。町民皆さまのご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

馬場川小学校落成記念



昔の議会風景 (今の郵便局の場所)



昔の役場庁舎 (今の郵便局の場所)

# 子どもたちの将来に大きな夢と希望を

瀬棚町教育委員長 工藤芳江

平成の大合併と言われ、国の政策により進められてきた檜山北部3町の合併の日も目前となりました今日でございます。

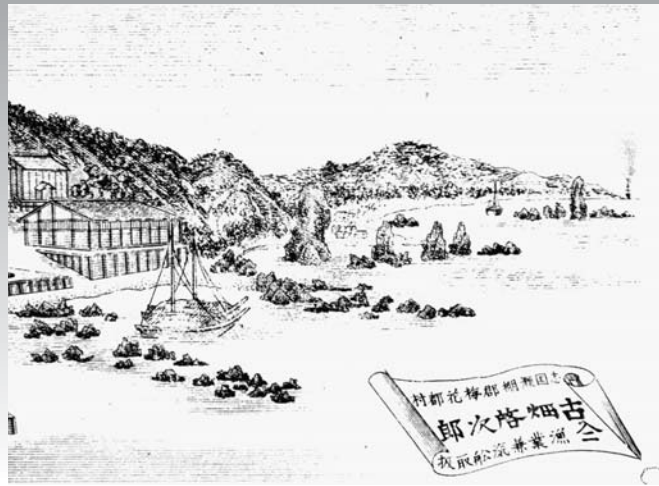
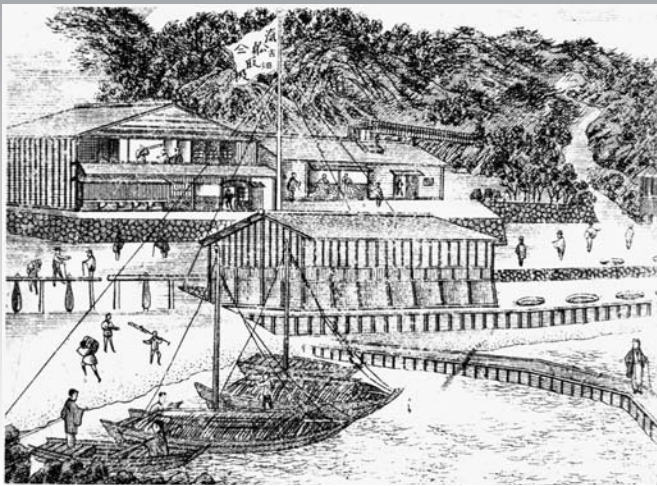
これまで、児童生徒の健全育成のため、地域の皆さまのご支援ご協力に對しまして、心より感謝とお礼を申し上げます。瀬棚町はかつて、ニシン漁で港から栄え、先人の幾多の困難の中から築き上げられた125年あまりの歴史のある町であります。学校関係につきましましては、明治12年、元浦(梅花都)の地区に瀬棚学校が建設され、翌年開校されておりました。さらに、明治17年、

白岩地区に島歌小学校が新築開校され、瀬棚小学校は明治22年、瀬棚学校の分校となりましたが、やがて明治25年に分校を本校とし、従来からの本校を分校として、指導に活用しておりましたが、明治34年、それぞれの分校は独立して尋常小学校と改称されておりました。馬場川小学校は明治39年、簡易教育所として開校しておりました。その後、さらに中学校を併置したり、学校建設地域の移転などを行ったりまた、学校名(尋常)

を改めたりしながら、各学校は相当数の児童生徒の教育が行われておりました。児童数の減少で、須築小学校、美谷小学校、梅花都小学校の廃校もされましたが、昔と違って交通機関の利便性もあり、父兄の皆さまにはご心配をおかけしていることと思われませんが、統合により子どもたちの学習の場は補てんされ今日に至っているところであります。

新町「せたな町」となりましても、子どもたちをとりまく教育環境(学校教育)は変化することなく、たくましく心豊かな「せたなつ子」を育み、そしてより以上の成長、進展を願っております。また、社会教育面でも新しい取り組みにより、ますますの発展を期待しているところであります。

活力のある町、魅力のある町となり、子どもたちの将来にも大きな夢と希望を抱ける町となりますよう、切に望み、皆さまと共に新しいまちづくりの第一歩を踏み出そうと思っております。閉町に際しましてのご挨拶に代えさせていただきます。



# 瀬棚町はこうして生まれた…

## 維新前

瀬棚に人間が住みついたのはいつ頃で、また、どんな人たちが住んでいたかは不明であるが、町内各地より出土する遺跡、遺物から推察し、昔、アイヌ民族が使用したものであると言われている。これらの遺跡・遺物は、海岸と川沿いの丘に豊富に埋蔵されている。

この地域は、室町時代から東部沙流地方（日高方面）とともに、西部瀬田内として、タナケシ（またはタナサカシ）、ハシタイン、メナウケなど、歴史的に有名な酋長の根拠地であった。享禄・天文・寛永の乱のころは、蝦夷の争乱もおさまり、平和が保たれるようになった。

文禄二年（一五九三年）正月五日、松前五代藩主慶広が、豊臣秀吉に会い蝦夷頭首の朱印状をもらって領主となり、東・西蝦夷を多くの場所に区割りして家臣の知行地（配下に与える土地）。当時の封建的支配者の主要な財源をなしていたのは、農民から徴収する年貢米であったが、北

海道では米作はもちろんのこと、農業生産はほとんど不可能であったので、ほかの藩に見られない特殊な制度が実施された。和内地・蝦夷地を多くの場所に分割して、その一部を藩の直領地とし、ほかを家臣に知行地として与え、アイヌ民族の人たちとの交易を許した。瀬田内場所となったのはこのときであり、「場所持（知行主）」は松前藩奉行ハギハシ氏であった。瀬田内場所の知行主は、ほかの場所と同じく世襲（子孫が受け継ぐこと）を原則とし、文化

四年（一八〇七年）徳川幕府が蝦夷地全域の直轄となるまで、瀬田内の知行主として君臨していた。アイヌ民族の人たちの居住は、運上屋（松前、奥州、近江などその外商人の出店があり、交易を行う場所）との交易の便宜上、運上屋の付近に集まって集落を構成するようになった。運上屋は当初、ヲモナイ（利別川河口）にあったが、のちに「セタ、ル、シユペナイ」（船溜近く）に移っている。アイヌ民族も和人と接するようになってから、さまざま

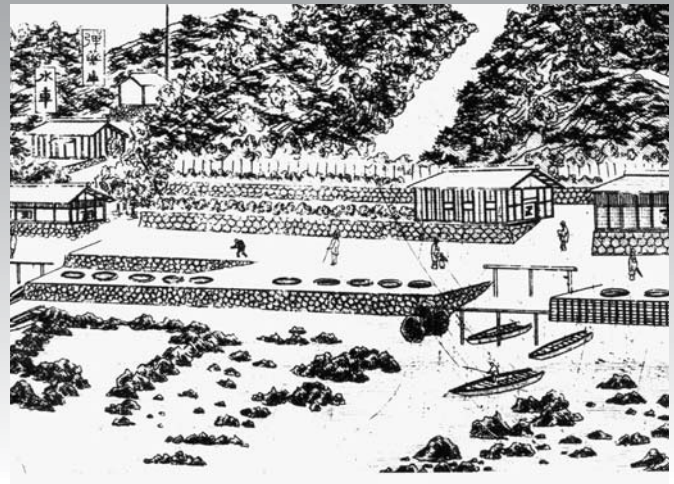
な悪質な病気に感染し、文政五年（一八二二年）一九戸、八六人であったのが、安政元年（一八五四年）には一二戸、五九人となった。明治維新の頃の瀬棚には、三本杉に六戸の人家、瀬足内に本陣と一五戸のアイヌ民族、ほかは海岸沿いに転々と居住しているに過ぎなかった。

## 維新後

明治二年、北海道が誕生した当時は、瀬棚郡は（瀬棚、梅花都、中歌、島歌、蛇羅）五カ村となり、兵部省の管轄であった。翌年一月には斗南藩の所有となり、同年八月には開拓使の所管となった。

明治五年二月、開拓使瀬棚出張所が置かれ、明治八年八月、瀬棚勤番所となり、明治九年五月、瀬棚分署と改称され、明治一三年三月、瀬棚外四村戸長役場を置き、函館県の所轄となった。

明治一八年、島牧郡歌原村のう



## 新町「せたな町」誕生までの経緯

平成15年	
2月7日	檜山北部4町長会議にて任意合併協議会を2月をめどに設置することで合意
2月25日	<b>檜山北部4町合併問題協議会設置</b> (会長：大成町長)
～8月13日	第1回～第4回合併問題協議会
8月31日	市町村合併講演会の開催 (大成町町民センター)
9月17日 ～12月26日	第5回～第8回合併問題協議会
平成16年	
1月22日	第9回合併問題協議会 <b>今金町が離脱</b> 法定協議会設置協議
2月20日	第10回合併問題協議会
3月25日	第11回合併問題協議会
3月8日 ～19日	「檜山北部3町合併協議会設置」に関する3町の議決
4月1日	<b>「檜山北部3町合併協議会」設置</b>
4月7日	第1回合併協議会 (北檜山町)
4月23日	第2回合併協議会 (瀬棚町)
5月14日	第3回合併協議会 (大成町)
5月28日	第4回合併協議会 (北檜山町)
6月25日	第5回合併協議会 (瀬棚町)
7月23日	第6回合併協議会 (大成町)
8月27日	第7回合併協議会 (北檜山町)
9月24日	第8回合併協議会 (瀬棚町)
10月8日	第9回合併協議会 (北檜山町) <b>町名が「せたな」に決定</b>
10月22日	第10回合併協議会 (大成町)
11月10日	第11回合併協議会 (瀬棚町)
12月7日	<b>合併協定調印式 (北檜山町)</b>
12月21日	<b>第4回定例議会で合併に係る関連議案を議決</b>

任意協議会

法定協議会

ち、須築の集落を当町に合併して茂津多岬をもって北側の郡界とした。明治二四年、郡役所が江差町に移り、明治三〇年、函館県とともに郡役所が廃止され、北海道檜山支庁の管轄となった。同年六月一三日、利別村（現今金町）が分村し、同三年二月一九日、東瀬棚村（現北檜山町）が分村された。明治三五年四月一日、二級町村制が施行され瀬棚村となり、大正八年四月一日、一級町村制を施行、同一年一月一日より町制を施行し現在に至っている。

## 合併論議の歴史

昭和29年2月に檜山支庁管内町村合併促進委員会から「太櫓村」、「瀬棚町」、「東瀬棚町」の対等合併を適当とする意見が具申されたことから、合併論議が行われることに。 (昭和の大合併) 翌昭和30年2月に「三町村合併連絡協議会」を設置し、議論を進めたが「新町名」と「庁舎の位置」がまとまらず協議は難航。その後、瀬棚町が町民大会を開催し、合併には基本的に賛成だが、庁舎の位置を瀬棚町にすることが絶対条件となったことで、それを大会の決議文として3月7日に開催された

第3回の連絡協議会へ提出。それにより3町村の合併が困難となり、協議会は解散。後日、太櫓村と東瀬棚町が合併し北檜山町が誕生。それから数十年後、平成15年より檜山北部4町で、再度合併論議が行われることに。 (平成の大合併) 平成16年には今金町が離脱し、大成町、瀬棚町、北檜山町の檜山北部3町で議論が進められる。同年4月1日に「合併協議会」を設置。その後さまざまな議論がされ、平成17年9月1日、新町「せたな町」が誕生することに。 (詳しい経過は左をご覧ください。)

# 写真と年表で見る瀬棚の歴史

## ■ 維新前



▶ 明治初期の商家

享祿2年 (1529)

享祿5年 (1532)

元文6年 (1741)

文化3年 (1806)

文政5年 (1822)

元保4年 (1833)

弘化2年 (1845)

安政2年 (1855)

●セタナイ(今の瀬棚)でアイヌ民族と和人の戦が起きる。

●この頃、アイヌ民族は冬になると奥尻島へオットセイ漁に出稼ぎへ。

●ヤソベシ・チヨタンクロ兄弟が初めてセタナイに定住。

●兄弟は定住した場所をサントカリと称す。(今の本町1区)

●松前大島の噴火により津波が起きる。

●天明より寛政にかけてセタナイウタスツでニシン漁業が発達。

●幕府の「遠山金四郎」一行が巡視。太田から山道を越えセタナイに滞在。

●この頃、セタナイのアイヌ17戸、86人居住。

●この頃、しなの木より地藏尊が現れる。(文政年間)

●飢饉の奥羽地方より小舟で到着した2家族が移住。

●松浦武四郎(幕府の蝦夷地調査員)がセタナイまでを踏破。

●セタナイ地方は津軽藩の警衛地に決定。

## ■ 明治時代

明治3年 (1870)

明治6年 (1873)

明治10年 (1877)

明治11年 (1878)

明治12年 (1879)

明治13年 (1880)

●斗南藩から会津町へ5家族が移住。(翌年8家族移住)

●斗南藩士13戸は木材を集め存在川(ハバ川)に存在橋を架橋。

●ロシア軍艦アレウト号が瀬棚海岸で遭難。乗組員は救助され越冬。

●アレウト号の乗組員が帰国の際に浜中で再度遭難し、乗組員全員死亡。

●梅花都、蘭林寺で寺子屋を開始。

●平井伝一郎が清酒醸造の営業を開始。

●久遠・奥尻・太櫓・瀬棚四郡役所を久遠郡一艘瀬村に設置。

●戸長役場開庁。平井伝一郎が戸長になる。

●瀬棚学校が今の梅花都に開校。(2年制)

●瀬棚郵便局が三本杉に開局。



▶ 昔の祭典風景



▶ エシン漁全盛期に栄えた瀬棚の遊郭



▶ 昔の郵便局





▶ 映画館



▶ 開基100周年記念パレード



▶ 出征兵士を見送る瀬棚駅前

### 昭和時代

- 昭和2年 (1927)
- 昭和7年 (1932)
- 昭和12年 (1937)
- 昭和18年 (1918)
- 昭和22年 (1947)
- 昭和25年 (1950)
- 昭和29年 (1954)

昭和30年 (1955)

昭和32年 (1957)

昭和35年 (1960)

昭和36年 (1961)

昭和38年 (1962)

昭和41年 (1966)

昭和43年 (1968)

昭和48年 (1973)

昭和49年 (1974)

●初めてホルスタイン乳牛が導入される。(26頭)

●日本国有鉄道瀬棚線が全線開通する。

●茂津多岬灯台が完成点灯する。

●瀬棚森林組合が設立される。

●新制中学校が開校する。

●東瀬棚く美谷間でバス運行開始。

●瀬棚沖でスケソウ延縄漁船遭難6隻沈没。乗組員37人全員死亡。

●瀬棚小学校新校舎落成

●町議会が町村合併に賛成であることを知事に答申。

●太櫓村、瀬棚町、東瀬棚町合併促進協議会設置。

●太櫓村、瀬棚町、東瀬棚町の合併が町議会で否決。

●知事より瀬棚町、北檜山町の町村合併を勧告される。

●町村合併に対する公聴会を開催し、合併に反対する。

●商工会が創立される。

●瀬棚町でテレビ共同聴取開始。

●老人クラブが結成される。

●市街地簡易水道が給水開始される。

●瀬棚町の町章と町旗が制定される。

●第1回漁火まつり、花火大会が開催される。

●瀬棚出身の力士「大受」が大関へ昇進する。

●養護老人ホーム三杉荘が開所。

●瀬棚水族館が開館する。

●茂津多トンネルが開通する。

●せたな青少年旅行村が開村する。

●瀬棚く奥尻間フェリーが就航する。

●国鉄瀬棚線が廃止。代替バス運行。

### 平成時代

平成3年 (1991)

●ハンフォード市と姉妹都市を結ぶ。

道229号島牧村—瀬棚



▶ 国道229号茂津多トンネル開通



▶ 昔の瀬棚小学校上空より



▶ 瀬棚線廃止 (さよなら列車)

「さよなら列車」は



▶ 天皇皇后両陛下が被災地を視察



▶ 北海道南西沖地震では大きな被害が



- 平成5年 (1993)
- 平成6年 (1994)
- 平成7年 (1995)
- 平成8年 (1996)
- 平成9年 (1997)
- 平成10年 (1998)
- 平成11年 (1999)
- 平成12年 (2000)
- 平成13年 (2001)
- 平成14年 (2002)
- 平成15年 (2003)
- 平成16年 (2004)
- 平成17年 (2005)

- 北海道南西沖地震により大きな被害を受ける。
- 天皇・皇后両陛下被災地視察のため来町。
- 新横滝トンネル開通。
- 商工会青年部がサツポロフアクトリーで、「イカイカダービー」を開催。
- 第5回YOSAKOIソーラン祭りに「瀬棚気合一本!!」が初参加。
- 北部3町で携帯電話サービスが開始。
- 瀬棚町がインターネットにホームページを開設
- やすらぎ館がオープン。
- 国道229号第2白糸トンネル崩落事故が起こる。
- 新橋演舞場で講演の荻野吟子の生涯「命燃えて」観劇ツアーを実施
- 保健センターがオープン。
- 新年交礼会で地酒「吟子物語」発表会。
- 瀬棚町開基120周年
- 荻野吟子記念瀬棚医療センターがオープン。
- 茂津多林道が完成。
- 初めて大相撲「朝日山部屋」が瀬棚で夏合宿。(郷土後援会を設立)
- 茂津多岬灯台が改修され、日本一高い灯台に。
- 改築していた瀬棚保育所が完成。
- 夕陽が丘パークゴルフ場が完成。
- 教育の森が完成。
- 高速インターネット回線ADSL回線が開通。
- 檜山北部4町合併協議会を設置。(その後、今金町が離脱)
- 日本初の洋上風車「風海鳥」が本格稼働。
- 檜山北部3町合併協議会を設置(事務局を北檜山町に設置)
- 生活支援ハウス「かざみどり」がオープン。
- 瀬棚町が有機酪農と有機農業の推進特区に認定される。
- 新町名称が「せたな町」に決定。
- 議会で合併が議決される。
- グリーンパワー瀬棚が大型風車6基の建設を開始。
- 瀬棚町が閉町
- 大成町、瀬棚町、北檜山町が合併し新町「せたな町」が誕生。

▶ 日本初の洋上風車



国道229号第2白糸トンネル崩落事故



▶ 昔の国道(本町7区付近)





❏No.182 昭和55年、現在の役場庁舎の建設工事の写真です。



❏No.172 昭和54年の町民運動会の模様。身につけているものを並べて長さを争う競技だそうです。



❏No.24 現存する一番古い広報です。昭和33年12月発行。中には、メートル法開始という記事も…。



❏No.261 平成元年、北海道中ひざくりげの「熊さん一座」が来町。「瀬棚だいこん一座」も大活躍したとか？



❏No.241 昭和61年に道警音楽隊とカラーガード隊が来町しB&G体育館で演奏会を行いました。



❏No.208 今も行われている龍光寺の寒中荒水業。この年は、大坪観誠さんなど日蓮宗派の僧侶4人が参加



❏No.327 平成11年の新年号。交流学习中だった町内の5・6年生が表紙。この頃、広報担当は知る人ぞ知る林野庁の塚田さん。



❏No.339 YOSAKOIソーラン祭り初出場に向け練習中。(平成7年)すべてはここから始まったんですね…。



❏No.324 平成7年の一日体験入学。このころ、32年ぶりとなる町長選挙が開催され、平田町長が初当選。



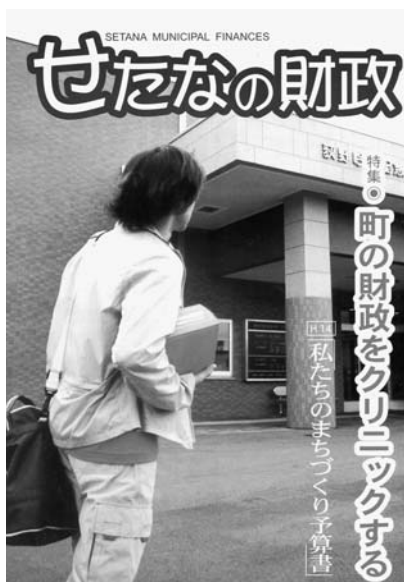
❏ No.423 吟子物語試飲会の模様。懐かしい先生二人が満面の笑みで…。  
※檜山管内広報表紙コンクール特別賞



❏ No.411 平成13年、茂津多岬灯台が改修され、日本一高い灯台に。翌年、周辺に教育の森を整備。



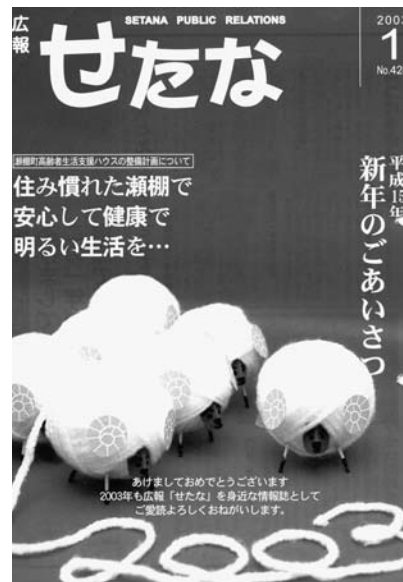
❏ No.381 天皇皇后両陛下が北海道南西沖地震の復興状況視察のため、2度目の来町（平成11年）



❏ おまけ 当時、斬新な企画で多方面から反響があった財政特集号。主演俳優は本町3区のあの店長です。



❏ No.442 YOSAKOIソーラン祭り9年目は、姉妹都市ハンフォードと。  
※檜山管内広報表紙コンクール特別賞



❏ No.424 毎年恒例化してしまった手づくり表紙シリーズの1つ。気づいたら全部で5シリーズにも…。

広報

SETANA PUBLIC RELATIONS

新しい  
広報 **せたな** から

新しい  
広報 **せたな** へ

今回の広報No.457号で瀬棚町が発行する広報「せたな」は最終号となります。これまで、長い間ご愛読いただき誠にありがとうございました。瀬棚町の歴史とともに歩み続けた広報「せたな」は、今まで約50年にわたり皆さんにいろいろな情報をお届けしてきました。そんななか、ごく一部ですが、懐かしい広報の表紙をまとめてみました。年表の写真やNo.400号記念特集のときと重複するものもありますので、主なものというよりは懐かしいものを中心に広報の歴史を振り返ってみましょう。瀬棚町の広報「せたな」はこれで終了となりますが、新町「せたな町」では毎月第2木曜日に、新しい広報「せたな」が発行される予定となっておりますので、引き続きそちらの広報「せたな」についてご愛読よろしくお願いたします。また、合併後の広報に関する情報は瀬棚総合支所総務課まで…。

10/1より

# 組合の指定するごみ袋以外での ごみの排出は禁止になります。

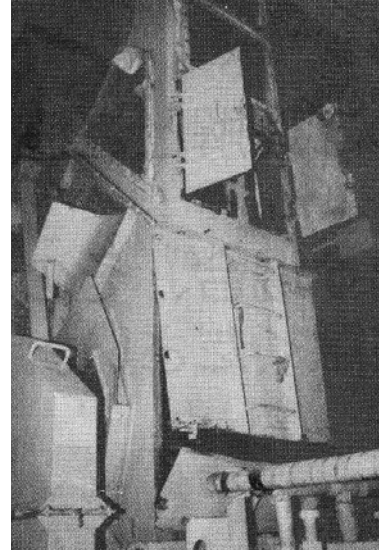
## 2度の大きな爆発事故で 甚大な被害が発生

10月1日から、ごみをステーションに出す場合、組合の指定するごみ袋以外でのごみの排出は禁止になります。

北部檜山衛生センター組合では、平成13年11月と平成16年4月に燃えないごみの破砕施設で2度の大きな爆発事故があり、甚大な被害が発生しました。

幸いなことに、2回とも人的な被害はありませんでしたが、一歩間違えば大惨事になり得る爆発事故です。

原因は、組合の収集した不燃ご



みの中にプロパンボンベが混入されていたためのものです。

このことを教訓に組合では、公共の財産と作業員の安全を確保するため、ごみ処理中の爆発・火災事故の未然防止対策を検討した結果、組合が指定するごみ袋以外のごみの容器を使用することを禁止するにしましたので、住民の皆さんのご理解とご協力をよろしく願います。

### 組合指定の ごみ袋以外の 容器とは

組合指定のごみ袋以外の容器とは「市販ごみ袋」、「ダンボール箱」などで、現在ゴミ処理券を

貼って出されている容器です。これらの容器は、内容物が確認できないものが多く、「危険ごみ」が混入していても分からずに収集し、処理をする過程で爆発や火災事故につながる危険性があります。

### ごみ処理券の 使用について

現在組合で発行しているごみ処理券は、従来どおり使用することができません。家具類や自転車などの粗大ごみ（処理券2枚まで）、ダンボールや木の枝などを重ねてひもで束ねたものにゴミ処理券を貼ってごみステーションに出してください。また、ごみを直接組合へ搬入する場合は市販の袋、ダンボール箱などの使用は可能です。

北部檜山衛生センター組合

☎ 6・0070

## 自衛官募集案内

### 2等陸・海・空士

- 志願受付/【男子】年間を通じて受付  
【女子】8月1日～9月9日
- 1次試験/【男子】9月19・20・25日（函館）  
【女子】9月26日
- 最終合格発表/11月18日

### 曹候補士・一般曹候補学生

- 志願受付/8月1日～9月8日
- 1次試験/9月17日（北檜山）
- 2次試験/10月8～9日（函館）
- 最終合格発表/【一般曹候補学生】11月9日  
【曹候補士】11月16日

※そのほか、航空・看護学生、防衛大学の募集については、下記へお問い合わせください。

問合せ先 役場総務町民課 ☎ 7-3311  
自衛隊今金募集事務所 ☎ 2-0258

## 合併に伴う 納税についてのお知らせ

すでに各税の納付書が皆さんのお手元に届いておりますが、合併後もその納付書で納付することができます。納期についても今年度は変更ありませんので、よろしくお願いいたします。また、口座振替の方については、変更の手続きは必要ありませんのでよろしくお願いいたします。



→税金に関する合併後のお問い合わせ先は、瀬棚総合支所財政課 ☎ 7-3311まで

## 宝くじ助成事業で 災害備品備蓄倉庫 を整備しました。



↑老人と母と子の家の横に整備された「災害備品備蓄倉庫」

このたび、(財)自治総合センターが実施する『平成17年度コミュニティ助成事業(宝くじ助成事業)』の『自主防災組織育成助成事業』による助成金の交付を受け、老人と母と子の家の横に『災害備品備蓄倉庫』が整備されました。この保管庫に、防災物品や土嚢などを一元的に管理することで、災害時の必要物品搬出など、迅速な対応が期待できます。

### 警察署名の変更

北檜山警察署はこのたび、北檜山町、瀬棚町、大成町の3町が合併し、9月1日から「せたな町」に町名変更になることから、警察署の名前と住所が次のとおり変わります。

- 新名称／せたな警察署
- 新住所／久遠郡せたな町北檜山区徳島4番地17

※9月1日以降の届出書類などは新しい警察署名でお願いします。

### 自動車運転免許証の住所変更

免許証の変更時に変更しますので、合併時の手続きは必要ありません。なお、更新前に希望される方は住所地を管轄する警察署または交番などで手続きをしてください。ただし、自己都合で住所が変更となる場合は、記載事項の変更をしなければなりません。

### 自動車保管場所証明証関係

住所変更の手続きは必要ありません。変更登録、移転登録の申請時に合わせて手続きを行ってください。

### 猟銃、刀剣類など所持許可関係

本籍、住所の変更手続きは必要ありません。なお、書き換えを希望される方は、住所地または事業場を管轄する警察署の窓口申し出てください。

詳しい内容については、北檜山警察署までお問い合わせください。☎4-6110

# 町名変更に伴う 警察署からのお知らせ



予定価格が「130万円を超える建設工事」「50万円を超える建設工事に伴う調査・測量・設計等の委託業務」について「入札予定価格の事前公表」をしています(随意契約は「事後公表」)。あわせてその「入札結果の公表」についても実施しています。(下記一覧表)なお、入札執行の状況は役場前の掲示板に公表し、建設水道課でも閲覧しています。

7月12日入札執行分

工事(業務)名	契約の方法	契約業者名	契約金額	予定価格	落札比率	完成期限
瀬棚町特定環境保全公共下水道新設工事(三本杉)	指名競争入札	佐藤建設工業(株)	3,745万3,500円	3,790万5,000円	98.8%	H17.11.30
同工事(南川その1)	指名競争入札	(株)瀬棚建設工業	2,751万円	2,791万9,500円	98.5%	H17.11.30
同工事(南川その2)	指名競争入札	(株)浅田建設	2,289万円	2,320万5,000円	98.6%	H17.11.30
瀬棚町特定環境保全公共下水道管渠実施設計及び測量調査業務委託	指名競争入札	日本上下水道設計(株)札幌事務所	451万5,000円	472万5,000円	95.6%	H17.10.9

※金額はいずれも消費税込みの金額です。落札比率は小数点第2位で四捨五入しています。

【担当:建設水道課 金澤】

## 入札予定価格と 入札結果の公表について

2005「せたな漁火まつり」

たくさんのお客さんと賑わう

8月6日、7日に開催された瀬棚町の一大イベントである「せたな漁火まつり」は、晴天に恵まれ、2日間で約1万2千人もの観客で賑わいました。恒例の「花火大会」では、無風状態が災いし、煙が消えずに花火が見えないハプニングもありましたが、今年も最後に登場した20号玉の超特大花火で大きく盛り上がりました。



わたみ北海道自然学校

関東の小学生が瀬棚で産業体験

8月16日、「わたみ北海道自然学校」の参加者が瀬棚町を訪れました。これは、農業特区制度を活用して瀬棚町に農業参入した㈱ワタミファームの親会社となるワタミ㈱の主催で開催されたもので、7回目となる今回は、昨年に引き続き瀬棚町での開催となりました。同社の社長は、教育活動にも力を注いでおり、6月に瀬棚を修学旅行で訪れた東京の高等学校「郁文館学園」の理事長でもあります。こうした青少年の育成活動の一環として、今回、一般公募した関東の小学生40名が瀬棚に滞在しながら、19日まで農漁業などの産業体験を行いました。子どもたちは、ワタミファームの瀬棚農場での収穫体験やイカ刺しづくり体験のほか、ホタテの養殖漁場見学など、盛りだくさんのメニューで瀬棚の産業を体験しました。

平成17年度瀬棚町成人式

瀬棚町最後となる成人式

8月14日、町民センターを会場に、瀬棚町最後となる成人式が開催されました。今年は成人者19名（男性11名、女性8名）が参加。式では成人者を代表し、堂端洋さん（元浦4区）、高橋香緒理さん（西大里2区）が誓いの言葉を述べました。式後の祝賀会は、成人者有志が企画運営を行い、アトラクションやビンゴゲームなどで楽しみました。また、当日は夏合宿で瀬棚を訪れている朝日山部屋の親方をはじめ、力士の皆さんなども参加し、アトラクションで大銀杏（おおいちよう）髪結いの実演などを行いました。今回で瀬棚町として行う成人式は最後となりますが、来年からは新町「せたな町」で成人式が行われることになります。



# コリドー交流情報館

～行ってみよう！となりまち～

## 長万部町

### ～長万部ポイントガイド～ 平和記念館

丸木似里・俊夫妻「原爆の図・母子像」など、反戦と平和を願う心が生んだ美術工芸品を展示。前庭には、世界的彫刻家、本郷新の作品群が並んでいます。(入場は無料) ●場所／高砂町(センター通り) ●時間／午前9時～午後5時 ●休館日／月・火曜日、祝日の翌日 ●お問い合わせ先／町民センター ■01377-2-5396

## 八雲町

### ～八雲の特産品を販売します～ はぴあ産直市

地元で採れた新鮮・安全・安心な野菜や水産物・水産加工品などを販売する産直市を毎月開催中。ぜひ一度お越しください。 ●開催日／毎月第2・第4土曜日(9月は10日と24日です) ●開催時間／11時30分～12時30分 ●開催場所／はぴあ八雲 ●お問い合わせ先／八雲商工会 ■01376-3-2525

## 熊石町

### ～豪快な渓谷美の中で入浴を～ 秘湯「熊の湯」

平田内川のダイナミックな渓谷の岩棚に湧く天然の露天風呂(男女混浴)です。豪快な渓谷美の中での入浴は、野趣満点のひとつきを満喫させてくれます。国民宿舎ひらたない荘より2.5km奥。男女別更衣室、駐車場有。 ●利用料／無料 ●お問い合わせ先／役場産業課 ■01398-2-3111

## 大成町

### ～郷土料理と温泉でリラックス～ 国民宿舎「あわび山荘」

あわびを始めとする旬の素材をいかした郷土料理や露天風呂でゆったりとリラックスはいかがですか。 ※あわび鍋などの特別料理もあります。 ●場所／大成町字貝取潤 ●宿泊料／大人7,100円、小学生6,060円、幼児1,460円(寝具のご利用のみ) ※いずれも1泊2食付税込 ●お問い合わせ先／国民宿舎あわび山荘 ■01398-4-5522

## 北檜山町

### ～勇壮な太鼓合戦は必見～ 真駒内神社例大祭

鮮やかに飾り付けられた山車や神輿が町内を練り歩き、華やかに着飾った踊り子が華麗な舞を披露します。 ●開催日／宵宮祭9月14日(水) 例大祭9月15日(木) ※15日午後7時JA北檜山前交差点で、5台の山車による勇壮な太鼓合戦があります。必見!

## 今金町

### ～道南最後のお祭り～ 今金八幡宮例大祭

道南最後のお祭りと言えば今金八幡宮例大祭。3台の山車、神輿が町内を練り歩き、踊りの披露や笛・太鼓の音色で町内はお祭り一色となります。 ●日時／9月19日(月) 宵宮祭、9月20日(火) 例大祭 ※午後7時Aコープ交差点(けんか太鼓、神輿の共演) ※デ・モーレン広場(風車の建物)には出店がたくさん出ています。ぜひ、お立ち寄りください。



### 大相撲「朝日山部屋」が瀬棚で夏合宿 2年ぶりに瀬棚で夏合宿を行う朝日山部屋

瀬棚町出身の元大関「大受」こと朝日山親方率いる大相撲「朝日山部屋」の夏合宿が2年ぶりに瀬棚町で行われました。今年は、親方、おかみさん、そして十両の大真鶴関をはじめとする力士12人のほか、行事の木村正直さん、床山の床淀さんの総勢16名が夏合宿で瀬棚に訪れました。合宿の期間は8月1日から23日までで、その間、力士の皆さんは稽古の合間を縫って、漁火まつり(ちびっこ相撲、振る舞いちゃんこ)や成人式のほか、さまざまな交流行事に参加しました。今後の力士たちの活躍に期待して、皆さんも応援よろしくお願ひします。



### 夕陽が丘パークゴルフ場の拡幅作業を実施 夕陽が丘パークゴルフ場の一部を拡幅しました

7月30日から31日の2日間、夕陽が丘パークゴルフ場の16番と17番ホールの拡幅作業を行いました。作業は瀬棚町建設協会(橘祥蔵会長)とパークゴルフ愛好会などのボランティアの皆さんによって行われ、最内川側へ盛土し整形した後、芝張りなど、約1,800㎡の拡幅作業を行いました。拡幅したホールについては、まだ芝が定着していないことから、利用はできない状態ですが、準備ができ次第に開放いたしますので、もう少々お待ちください。



**ご利用ください**  
**北檜山職業相談室での  
取り扱いについて**

雇用保険受給手続きから認定・給付まで、ご本人の申し出により八雲出張所で取り扱いができますのでご利用ください。

また、お仕事に関するご相談を派遣日以外でも行っていただけますのでお気軽にご相談ください。なお、9月・10月の函館公共職業安定所職員の北檜山職業相談室派遣日は、次のとおりです。

**◎日時**

- ・9月7日 困 午後1時～午後5時
- ・9月8日 困 午前9時～正午
- ・10月5日 困 午後1時～午後5時
- ・10月6日 困 午前9時～正午

**関倉** 北檜山職業相談室

☎ 4・5724

**関倉** ハローワーク函館

☎ 0138・26・0735

**関倉** ハローワーク八雲

☎ 01376・2・2509

**お気軽にご相談を  
登記相談所**

**開設日のお知らせ**

毎月、司法書士の方々がボランティアで「登記相談所」を開設し、登記に関する各種相談を行っております。(月1回程度) 相談を希望される場合は、事前に相談希望日の担当となる司法書士へ直接電話にてご予約をお願いいたします。

**◎相談にあたる司法書士**

- ・井上正範 ☎ 01377・2・5325
- ・成田英雄 ☎ 01376・5・5607
- ・佐々木長芳 ☎ 01376・3・2703

**◎9月・10月の相談所開設日**

- ・9月20日 困 (成田)
- ・10月18日 困 (佐々木)

**◎開設時間／午前10時～正午  
◎会場／やすらぎ館**

**関倉** 役場総務町民課

☎ 7・3311

**ご確認ください**

**あなたを守り、あなた  
を支える。自賠責制度**

自賠責保険・共済は、年間約130万件もの交通事故被害者に支払われております。

交通事故の発生件数は、この10年間で約31%増加し、毎年多くの死傷者数を出しています。死亡者数こそ減少傾向にあるものの、負傷者数については過去ワーストの118万人を超えました。毎年絶えない交通事故は、誰もが被害者にも加害者にもなる可能性があることを物語っています。一人一人がより一層自賠責制度の役割や、保険・共済金支払いの仕組みに対する理解を深めることが大切です。

原動機付自動車を含むすべての保有者に、自動車1台ごとに加入が義務付けられている保険・共済が、自賠責保険・共済です。交通事故により加害者となったときは、被害者に対する損害賠償責任を負います。強制保険である自賠責保険・共済は、すべての加害者の賠償責任を担保する

とともに、すべての被害者の基本的な対人賠償を補償する役割を果たしていますので、期限切れ、かけ忘れにご注意してください。

**関倉** 函館運輸支局輸送課

☎ 0138・49・5700

**納期内納税にご協力を**

**個人事業税の第1期分の  
納期は8月31日です**

個人事業税は、事業を行って個人の方が、事業の所得を基礎に課税され、8月と11月の2回に分けて納める道税です。

1回目の納期限は8月31日です。納付書は8月に第2期分の納付書と一緒に送付しておりますので、お確かめのうえ、銀行・郵便局など、お近くの金融機関で納めてください。

納期限ごとに預金口座から自動的に振替納税する、口座振替の制度もあります手続きは、納税通知書に同封の「預貯金口座振替依頼書」に必要事項を記載し郵送するだけです。

**関倉** 檜山支庁財務課納税係

☎ 01395・2・1010

**お気軽にご相談を  
アスベストに関わる  
健康相談について**

八雲保健所では、アスベスト(石綿)による健康への影響について、電話等による相談を行っております。

以前アスベストを吸い込んでいた可能性がある場合どこに検査に行ったら良いのか? アスベストを吸い込んだかどうかはどのような検査でわかるのか? などなど、アスベスト(石綿)に関しての情報提供、健康相談を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

**◎相談時間／月曜日～金曜日**

午前9時～午後5時

**関倉** 八雲保健所企画総務課

☎ 01376・3・2168

**お気軽にご相談を**

**「聞こえ」「ことば」  
の相談について**

函館聾学校では、「聞こえ」や「ことば」に心配のある新生児から、乳幼児、小学生、中学生の相談を受け付けています。

次のようなことにお気づきになりましたら、できるだけ早期にご相談ください。



消費税及び地方消費税は「消費者からの預かり金」ともいえる税です。定められた期限までに申告・納付をお願いします。

二六籍の窓口

KOSEKI NO MADOGUTI



お誕生おめでとう

○稲船 芹菜ちゃん  
稲船善仁さん・浩美さん/本町6区

おくやみ申し上げます

- 宮下 隆之さん (76) 本町9区
- 小町キクエさん (97) 元浦4区
- 折原 康夫さん (70) 本町5区
- 田村 キサさん (88) 南川
- 宮島 春雄さん (85) 北島歌2区

(6月15日から8月14日まで届出)

人口と世帯

8月19日現在 (前月比)

人口	2,712人	(-5)
男	1,301人	(-2)
女	1,411人	(-3)
世帯	1,172世帯	(±0)

関 函館聾学校教育相談部  
☎0138・52・1658

- 新生児聴覚スクリーニングで聞こえに気がかりなところがあると云われた。
  - 1歳を過ぎても言葉が出ない。
  - 発音や話し方がはっきりしない。
  - 言葉が増えない。
  - 聴き返しや誤りがある。
- 早期からの「聞こえ」の補償が、ことばの発達を促し、聞き取りや発音などの改善に大きな役割を果たします。
- また、各教育機関や教育センター、療育センター、病院、保健所(センター)などの専門機関とも連携して、保護者や指導者からの相談をお受けしています。

**もしかしたら家にも…**  
**戦後外地から引き揚げて来られた方々へ**

税関では戦後、海外から引き揚げて来られた方々からお預かりした、約87万件あまりの次のような未返還の保管証券類をお返ししています。

○終戦後、外地から引き揚げて来られた方々が、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券

○帰国前に樺太(真岡、大泊、豊榮、留多加など)、満州(瀋陽、吉林、撫順、鞍山など)にあった在外公館、日本人自治会に預けられた通貨・証券などのうち日本に返還されたもの。

○保管証券とは…税関が保管している通貨・証券類には、携帯輸入が禁止された一定額を越え

たものについて上陸港で引揚者から税関が預かった「上陸港扱いの保管物件」。外地からの引き揚げの際、在外公館または、日本人自治会へ委託され、最終的に税関に移管された「外地扱いの保管物件」があります。

返還の請求はご本人だけでなく、ご家族の方々でも構いません。「もしかしたら家にも…」とお気づきの方は、お気軽に最寄りの税関までお問い合わせください。税関では一人でも多くの人に返還されることを期待しています。

関 函館税関監視部統括監視官部門  
☎0138・40・4244

総務町民課戸籍年金係からのお知らせ

担当：浜登幸恵

自分の年金は自分で守っていきましょう  
そして、年金を受ける資格をつけましょう

瀬棚町として、皆さんに年金のお知らせをするのが最後となってしまいました。合併後も国民年金に関する届出・免除申請・年金の請求などについては、これまでと変わりなく手続きできますので、何かありましたらお気軽に窓口へお越しください。



以前にも掲載させていただきましたが、最近国民年金に係る法律の改正が多くあり、国民年金保険料の納付方法、国民年金保険料の免除申請の手続き方法等が改正されています。何か疑問に思ったことがあればどのようなことでも結構なので、今までもどおり戸籍年金係までお問い合わせください。年金について不安な時代ではありますが、国民年金の制度を知って、制度を利用していただきたいと思います。今月は担当者として、皆さんにこのことを伝えたいと思って広報の掲載記事を書いてきた自分のキャッチフレーズをタイトルにさせていただきました。今後も国民年金についての情報を広報誌に掲載していきたいと考えていますのでよろしくお願いたします。

**国民年金保険料は納付期限内に納めましょう！**

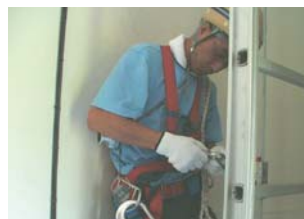
Koho - kenbunroku



⑨せっかくなので記念撮影！二人とも顔が引きつっているのがお分かりでしょうか？それにしても高かった…。



①高所恐怖症の二人（福士・尾野）が覚悟を決めて出陣！



②落下防止用のワイヤーを装着！ここは念入りに確認。



③このハンゴを約60mひたすら上がっていくことに…。



⑤途中には3ヵ所ほど休憩ポイントが…。ああ腕が痛い。

広報最終号の表紙撮影のため、無謀にも高所恐怖症の二人でグリーンパワー瀬棚の風車（一番南川側）に登ってきました。これは、福士補佐が勝手に私（尾野）の体験ルポということで企画したもの…。しかし、極度の高所恐怖症である私を取材しなくてはいけない補佐も登るので精一杯！結局、福士補佐の体験ルポになってしまいました…。川崎重工（施工業者）の森田さんお世話になりました。



③案内してくれた森田さんは、平気で頂上へ（ありえない）



⑦ついに目指す頂上へ！風が強いので、微妙に揺れています



⑥20分ほどかけ、ようやくナセル（本体）部分に到着！



編集後記  
- 最終回 -



▼最後に無謀な挑戦をしてしまいました。（上記参照）自他ともに認める超高所恐怖症（写真を見るだけでも怖い）の私が、こんな高いところに登るなんて、知っている人はビックリしてることでしょう！（足ガクガクでした）でも、これを私の体験ルポとして、最後の広報を締めくくるハズが…。怖い者見たさで企画した補佐のルポに…。ということで、長い間、こんな二人の二人三脚で作ってきた広報「せたな」でした。▼ついに瀬棚町として最後の広報を皆さんにお届けすることになりました。今、これまで携わってきた担当者と町民の皆さんが作り上げてきた広報の歴史の重さが身にしみております。私としては平成12年度より約5年と5ヵ月という瀬棚では比較的に長い期間、広報担当として業務にあたらせていただきました。当然、喜怒哀楽いろんな思い出がたくさんあります。皆さんにとって物足りない部分も多々あったと思いますが、見やすく、分かりやすく、自分らしくをモットーに、町民皆さんが喜ばれる広報にしようとして頑張ってきたつもりです。しかし、広報「せたな」を形にしてこれたのも、町民皆さんをはじめ、役場や各関係機関などたくさんの方々（家族もね）の協力と支えがあってこそ…。本当に感謝しています(T\_T) これからは、この広報「せたな」も新しい体制で作られることとなりますが、引き続きご協力をよろしく願います。（瀬棚総合支所の窓口は総務課です）▼最後となりますが、広報「せたな」最終号を祝して新しい広報「せたな」の前途を祝して乾杯！（〇）/〇☆〇\（\_）ご愛読に感謝！（尾）